

講義コード	11C0128817	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	芹田 浩司	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅡ(芹田)					芹田 浩司	通年		
履修前条件						備考			
授業の目的	本ゼミでは、現代の経済グローバル化が、個々の発展途上国の経済社会にどのような影響を及ぼしてきたのか、また、経済グローバル化時代における発展途上国の政府の役割や開発のあり方はどのようなものであるのか、といった問題について、ラテンアメリカやアジア、アフリカ地域など、地域間（国家間）の比較という視点も持ちつつ、文献の講読やゼミ生同士の討論等を通じて、深く理解することを目的とします。								
到達目標	発展途上国の貧困や開発問題、発展途上国と先進国の関係（先進国による途上国援助問題等）を学ぶことを通じて、世界経済に関して知見を深められるとともに、自分自身の見方・考え方を身に付けることができる。また、プレゼンテーションの能力も身に付けることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	レポートや報告用レジュメの作成等を忘れずに行うこと（そしてそのために必要な文献調査等をしっかりと行うこと）。また必要に応じてグループ学習を行うこと。なお、授業外学修時間については120時間以上とする。								
授業計画	<p>ゼミの前半（前期）においては、複数の文献講読等を通じて、発展途上国における貧困や経済格差の問題、工業化をはじめとする開発戦略や教育等の社会的問題、途上国に対する経済援助問題など、開発や発展をめぐる重要な諸問題について、基礎的な知識を養うことを目指します。また、より理解を深める等の目的から、隔週位のペースで講読した文献等に関するレポート課題も予定しています。その他に、後期に予定されているゼミ大会についても、テーマ設定やグループの編成等について議論を進めていきます。</p> <p>後半部分（後期）においては、前期の文献講読（レポート課題）に加えて、ゼミ大会に向けての本格的な準備作業を中心に、グループ学習をベースとした研究を進めていきます。</p> <p>【授業外学修】 文献（テキスト）を熟読し、レポート課題がある時には、レポートを作成し、期限までに提出すること。</p> <p>【第1回】 イントロダクション 【第2回】 ～ 【第14回】 文献講読及びゼミ生による報告と議論、レポート提出等 【第15回】 全体のまとめ 【第16回】 イントロダクション 【第17回】 ～ 【第25回】 文献講読とゼミ生による報告と議論（レポート提出）、及びゼミ大会の準備作業（グループによる研究報告等） 【第26回】 ～ 【第29回】 ゼミ生による報告と議論、レポート提出等 【第30回】 全体のまとめ</p>								
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢、報告、レポートによって総合的に判断します。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	ゼミで使用する文献等についてはゼミ中に指示します。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。								
その他									